



# 全院教育DXパッケージ 導入計画書

医療現場で続発する  
その真相に迫る。

**「人材消失事件」、** 

■ 提案者：株式会社ジョリーグッド

## File.01：現場で囁かれる「謎」

なぜ、**若手**は育たず、**ベテラン**は**疲弊**するのか？  
我々の病院で、二つの不可解な「謎」が囁かれている。

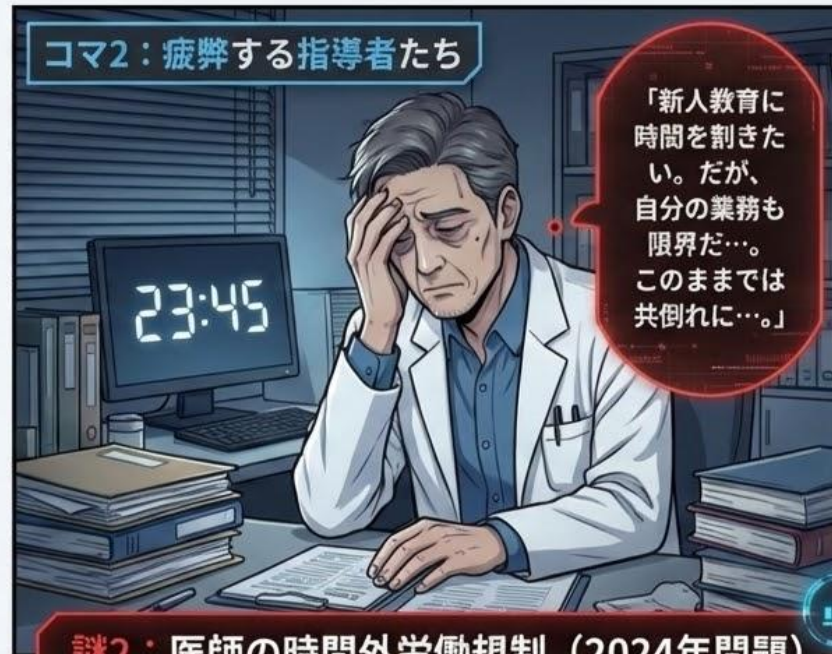
コマ1：消えゆく新人たち



「先輩はいつも忙しそう…。  
こんな初歩的なこと、今さら聞けない…。  
ミスが怖い…。」

謎1：新人・若手の早期離職

コマ2：疲弊する指導者たち



「新人教育に時間を割きたい。だが、自分の業務も限界だ…。このままでは共倒れに…。」

謎2：医師の時間外労働規制（2024年問題）



## File.02：容疑者は「見えざる犯人」

この事件の犯人は、我々の「仕組み」そのものに潜んでいる。

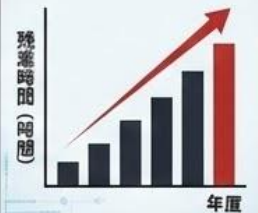
### 犯人の手口

「教える時間がない」指導層と  
「質問できず育たない」若手層  
の間に**負のスパイラル**を生み出し、  
組織全体の生産性を静かに  
蝕んでいく。



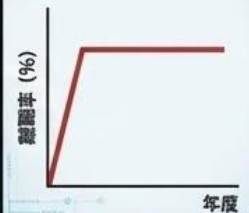
### 動かぬ証拠

証拠物件A：  
指導医・看護師長の  
残業データ



新人指導が、主要な  
残業原因の一つに。

証拠物件B：  
新人看護師の  
離職率データ



不安と成長実感の欠如が、  
早期離職へ繋がる。

「このままでは、未来がない...！  
必ずこの**犯人**を追い詰めてみせる...！」

# File.03：博士の「発明品」

—その時、一本の電話が鳴る。相手は、長年の友人である工学博士だった—



博士のセリフ：

「院長、困っているようだね。君のために、  
とんでもない発明品を完成させたよ。  
その名も…『JOLLYGOOD+』さ！」

## 発明品スペック



シンクロ・スコープ機能（超高精細VR）

熟練者の「視点」「判断の瞬間」を完全同期。言葉では伝わらない“暗黙知”を追体験できる。



スキル・プロファイラー（AI解析『VRCHEL』）

体験者の視線や動きをAIが解析し、理解度や習熟度を客観的データとして可視化する。



マルチデバイス・アクセス（PC/iPad/スマホ対応）

いつでもどこでも、時間や場所を選ばずに「捜査（＝学習）」を続行可能。



# File.04：潜入捜査：VR体験

「これが…ベテランの見る世界…！」

ゴーグルを装着した若手医師の視界に、緊迫のオペ室が広がる。

キラーン!



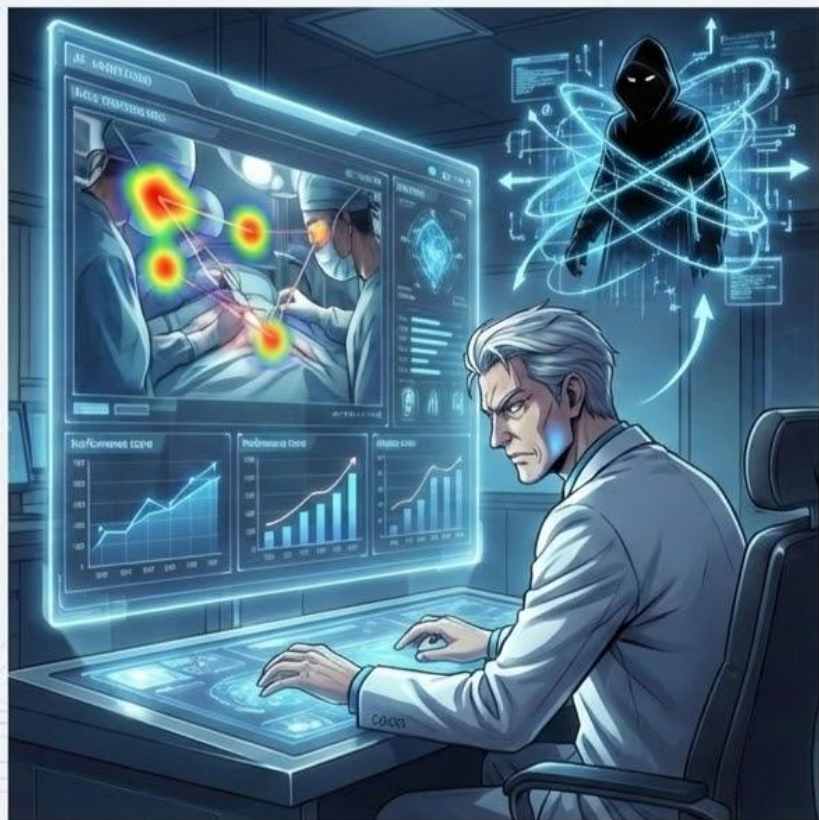
若手医師の心の声  
「教科書では分からなかった  
器具を渡すタイミング、  
術野の全体像、次の動き…！  
その“判断の根拠”が、  
手に取るように分かる…！」



テロップ：見るだけで、経験をインストールする。

# File.05：AIによるプロファイリング

追体験だけでは終わらない。AIの目が、課題の核心を暴き出す。



## AIが突きつけた「犯人の正体」

- 解析レポート1：視線の迷い
  - 若手は「どこを見ていいかわからず」、判断が遅れている。
- 解析レポート2：手技のムラ
  - 指導者によって教え方が異なり、学習効率にバラつきが生じている。

病院長のセリフ：

「そうか…！犯人の正体は、教育の『属人化』と『ブラックボックス化』だったんだ…！」

これが、解決の証明（エビデンス）だ

- 指導者の教育拘束時間：年間約200時間削減
- 新人の独り立ち期間：約30%短縮



# File.06：謎はすべて解けた



## 病院長の決め台詞

「犯人は...あなただ!『旧態依然の教育体制』!!」

### #### 事件の真相

犯人は、特定の誰かではなかった。「とりあえず見て覚えろ」という経験と勤頼りのOJT。  
全員の時間を奪うだけの、非効率な集合研修。我々が当たり前だと思っていた古い”仕組み”そのものが、  
人材の可能性を奪い、現場を疲弊させていたのだ。

ナレーション：こうして、病院から”犯人”は姿を消した…。

# File.07：事件解決の「切り札」

「…待ってくれ院長。それほどの改革、予算はどうするんだ？」

— 問い詰める理事長に、院長は一枚の切り札を見せた —



国が用意した、  
改革のための最終兵器

令和7年度補正予算

「医療分野における生産性向上に対する支援」

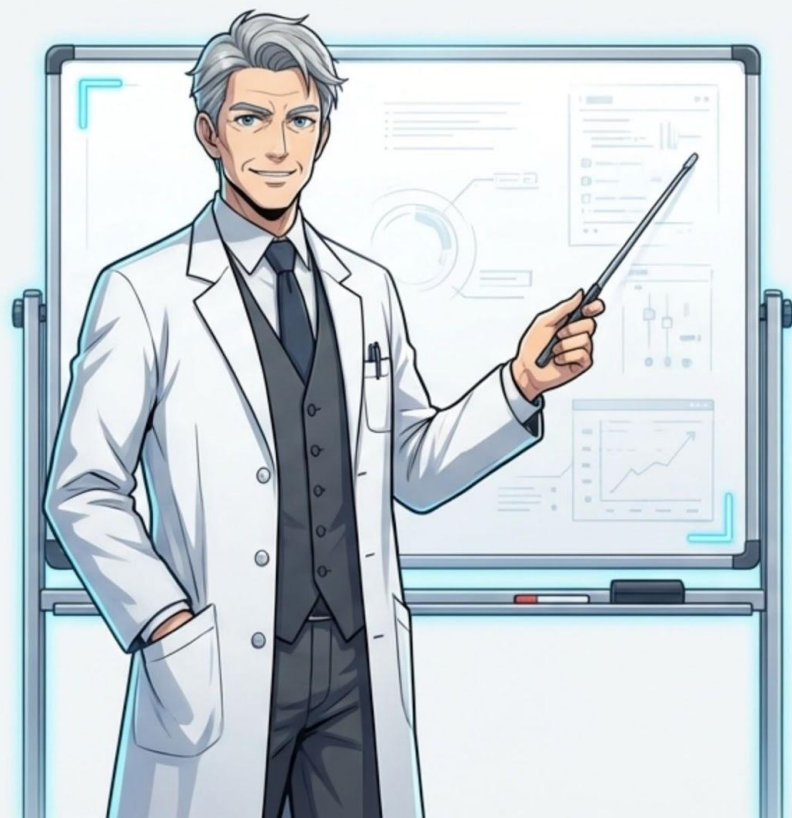
- ・ 補助率: **4/5 (80%)**
- ・ 補助上限: **8,000万円**  
(事業費1億円まで)
- ・ 対象経費: 設備備品費 (VR機器、タブレット)、システム導入費、コンテンツ制作費など

キャッチコピー：この好機、逃す手はない。



# Case Closed : 導入計画パッケージ

これは、我々が提出する「事件解決報告書」兼「未来への実行計画」だ。



## 【松プラン】 全院教育DXパッケージ構成案

- 🕶️ VRゴーグル：50～100台（各病棟・研修センターへ配備）
- 📱 管理用タブレット：20台（研修管理・集団視聴用）
- 📄 JOLLYGOOD+ ライセンス：5年分一括
- 🧠 AI解析『VRCHEL』：フル機能導入
- 🎬 カスタムコンテンツ制作：10本  
（貴院オリジナルの手技やルールをVR化）

## 費用シミュレーション

総事業費： 5,000万円

補助金活用 (4/5)： -4,000万円

**貴院実質負担額：1,000万円**

博士のセリフ：「申請に必要な『業務効率化推進委員会』の設置・運営も、我々が全面的にバックアップするぞ！」

# 未来へ

—事件は解決し、病院には新たな日常が訪れた。それは、人が育ち、未来が育つ日常だ—



この改革で、我々が導き出した”真実”  
「最高の医療は、最高の”教育環境”から生まれる」

さあ、次は貴院の番です。  
我々と共に、医療教育の「新時代」の扉を開きませんか？

株式会社ジョリーグッド

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-13  
WORK EDITION NIHONBASHI 502  
TEL: 03-4455-2694

ご相談&お問合せ

[jg\\_sales@jollygood.co.jp](mailto:jg_sales@jollygood.co.jp)

面談予約

<https://jollygood.eeasy.jp/soudan>